

# NIE の授業で

## 「主体的・対話的で深い学び」を生かし

## 「見方・考え方」を鍛える

日時 2019 年 11 月 9 日（土） 午後 1 時 20 分～午後 4 時

場所 秋田魁新報社 6 階会議室 （秋田市山王臨海町 1 の 1）

参加費 無 料

主催：秋田県 NIE 推進協議会、後援予定：秋田県教育委員会、秋田市教育委員会

新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が重視され、「見方・考え方」を鍛えるべきことが明記されました。「見方・考え方」という高次の教科内容を育て鍛えるためには、これまでの授業では限界があり、子どもを主体とし対話を重視した授業が必要という考え方がそこにあります。

「主体的・対話的で深い学び」を生かして「見方・考え方」を鍛えていく際、NIE の授業は間違いなく重要な位置を占めることとなります。しかし具体的にどういう教材を使って、どういう授業展開を創り出していけばいいかについての説明はまだ途上という印象です。

今回の「秋田県 NIE 研究会」では、それについて具体的な提案をいたします。「主体的・対話的で深い学び」を生かして「見方・考え方」を鍛える授業構築の大きなヒントが得られると思います。

由利本荘市教育委員会の指導主事・大庭珠枝先生が、新しい教材を使って NIE でどのように「見方・考え方」を鍛えていったらよいかを、模擬授業を通じて提案していただきます。内容は ナマハゲのユネスコ無形遺産登録の記事の読み比べです。全国紙と地方紙を読み比べ、それらの特徴・役割の違いなどを見出し、リード、本文、写真等に注目しながら探究を進めます。小・中学校、高校、特別支援教育といった枠を超えて多くの方々にとって大きな意味を持つ研究会となります。是非ご参加ください。

秋田県 NIE 推進協議会会長 阿部 昇

### 内 容

- 1) 模擬授業：「来訪神 仮面・仮装の神々」のユネスコ無形文化遺産登録について、各紙はどのように伝えたか～地方紙と全国紙の役割に気付く授業の提案～  
由利本荘市教育委員会  
大庭 珠枝 指導主事（国語）



- 2) 模擬授業検討会：「見方・考え方」を実現する指導の秘訣

阿部 昇 特別教授（秋田大学大学院教育学研究科、  
秋田県 NIE 推進協議会会長）

研究協力者：秋田市立岩見三内小学校 熊谷 尚 教頭

- 3) 全体講評：秋田県教育庁義務教育課 高橋 浩 指導主事

### 「決まったどー」男鹿歓喜



遺産登録の喜びを伝える新聞記事

